



岡村病院
院内報

歩 (あゆみ)

第 9 号

発行 岡村病院
編集 歩 (あゆみ)
編集委員会
平成 6 年 8 月 1 日

岡村病院 基本理念

私たちは、患者さん本位を第一に考え
高度な専門医療技術をもって
地域社会に貢献することを目指します。



心臓血管造影室

今月のことば

感謝する心

或お寺の掲示板に「感謝する心のない者は、夏が来ると冬がよいと言い、冬が来ると夏がよいと言う」と書いてありました。

私共は現状の中で感謝すべきものよりも、不満なものの方に多く心をとられるようです。しかし気をつけて見ると、現状の中に感謝すべきものが沢山あるのに気付く筈です。

生まれつき盲目で、現在高知市でマッサージ業を営んでいる或婦人が、その半生を記した著書の中に、「私が生まれてきて良かったと思っていること、そして今、生かされている恵みを感謝していることを両親に知ってほしいと思う。」と書いていました。

今、自分の置かれている現実の中に感謝すべきものを見つけて、ありがたいと思う心、それはすぐれた生活の知恵ではないでしょうか。

世の中が、どんなに便利になり、物が豊かになっても、感謝する心がなかったら、しあわせにはなれないと思います。

岡村病院の基本理念達成の為に



院長・心臓血管外科医長 岡村 高雄

職員の皆様は岡村病院の基本理念が「高度な医療技術をもって地域社会に貢献する」ことであるのは十分に認識されていると思います。この理念は十分に分かっていても日頃から具体的にどんな事を心がけていけば、それが達成されるのかを述べて見たいと思います。

第1番目は職員皆様の士気、「やる気」であります。職場に来たら「さあ頑張るぞ」という気持ち第一に重要と思います。行動として迅速に動くというような事が、全体の雰囲気として表われてくるものであります。逆に、極端な話しとして、休日の翌日だから、昨日飲み過ぎたから体がだるくて楽をしたいというような事では基本理念は達成されないと考えます。

第2番目は組織間の協調性であります。お互いの権限意識が高まると協調性が失われ、自己主張ばかり強くなり、目的達成の為の弊害となります。ここで言う協調性とは、お互いになれ

あいになる協調性ではなく、病院の基本理念である患者さんの為になる成果を得るように協力をしていくことであります。

第3番目は命令の実行度であります。病院として目的達成の為に組織として機能しておりますので、伝達、命令等は必ず実行されるはずであります。しかしながら、実際は容易ではありません。原因の一つは命令、実行の内容をまず自分で検討し必要かどうか、実行すべきかどうかを決定する為と考えます。命令の内容がおかしいと思えば声に出して言えば良い事であり、ただ実行しないのでは組織全体として機能せず、目的達成が困難となります。

私共は岡村病院として明確な基本理念を達成する為に日頃の努力が必要と考えておりますので、以上の事を各自チェックされて参考にしていただきたいと考えております。

新病院建築紹介(第5回)

心臓血管撮影装置

日本人の食生活の変化や高度な社会になると共に、ストレスも増大し、心臓病や血管の病気に悩まされる患者さんが次第に多くなりつつあります。この為、今回これらの病気に対する診断、治療の目的で表紙写真の心臓血管撮影装置を設置いたしました。従来、心臓病は診察、心電図、超音波等により診断されておりましたが、これらの方法も100%確実な方法ではありませんでした。この装置を用いる事により、心臓の2mm以下の血管を画像として見る事が可能となり、狭くなったり、通らない血管が確実にわかるようになっていきます。本装置はドイツ製のシーメンス社により作られており、現在世界的に見ても最も高性能の機種であります。

たとえば、動いている心臓の血管を映す為に

は、1秒間に25枚の写真が撮れる様になっておりますし、又色々な方向からも撮影可能となっております。そして、その場で結果もわかるようになっていきます。

心臓及び血管を映す為には約2mm程のカテーテルと呼ばれる細い管を血管の中に、足のつけ根、又は腕から入れて造影剤を流さなければなりません。多くの人々は大変痛い検査であるかの様に思っておりますが、実際は血管の中を管が通る時には全く痛みはありませんし、管を入れる部分の皮膚を一部麻酔する時のみ、少し痛みがあるだけであります。以前は検査の後に一日中歩けないとか、足のつけ根に砂袋をおいて血の止まる様にするような事がありましたが、現在は場合によっては外来でも検査できますし、もっとも長くても5~6時間ベット上に安静にしているだけで普通の生活がすぐ可能となっております。心臓や血管の病気で御心配な方は遠慮なく御相談下さい。

基準看護について(3)



副総婦長 谷脇美千恵

基準看護とはどんな看護か、というお話をさせて頂いておりますが、岡村病院の看護部門も基準看護の内容で本年4月から取り組みを進めていた所、7月監査を受け、8月1日付けで「基準看護」の承認を受けることができました。私は看護婦スタッフの一人一人が種々の困難の中で努力してくれたおかげと大変嬉しく思っています。同時に皆で築き上げたチームワークが誇りです。そこで、今回はチームワークについてお話をしましょう。

当院の看護部門は、2つの病棟看護と1つの外来看護があります。2つの病棟看護では、病棟の室別に2つのチームに分けており、1つのチームで12~18名の患者さんを受け持ちます。1つのチームの看護婦数は8~10人で構成されます。チーム員で、担当する患者さんへの日常生活の援助や診療の補助等の業務を全て行っています。私がチームで看護をする体制を取ったのは、患者さんの個々の性格、病気の具合、治療の方法とそして人数の増減に対応できる利点を持っているからです。基準看護に必要な人数は居ても、看護は一日24時間、一年365日を人の手と心で継げていなくてはなりませんので、ゆとりがあるわけではありません。看護の内容は学校を卒業した人にできる技術と、経験何年かの看護婦の心と知が必要な技術と様々です。患者さんにも自然にコミュニケーションできる方と細かな気くばりが必要な方が居ます。チームで看護をして、チーム員の未熟な部分、手の届かない部分を補い、手助けし、一人よりも数人の知識・技術と心によって看護を仕上げることです。これは患者さんの為だけではなく看護婦一人一人がお互いの姿勢に啓発され、見習い成長していくことも期待できるのです。

ところで、チームでよい看護をしていく基本にあるのが、「看護計画」です。看護計画とは、患者さん個々に、どの様な援助、指導を誰が、いつ、どういう方法で看護をするのか、チーム員で考え、話し合い計画書として立案します。その方法に添って担当の看護婦が実施して、結

果はどうであったか、今後、どう進めていくのかと話し合いが行われ、計画書は修正されたり新しい取り組みを計画したりするものです。

岡村病院が基準看護の取り組みを始めた時、スタッフの数、リーダーの存在、看護部門の体制も十分ではないまま、看護の方法を180度回転させました。今、基準看護の基礎を礎いたメンバーは分からない事が多い中、よく頑張ってくれました。それは彼女たちの中に、「看護は私たちの手で」という気持ちがあったからだ。私は信じています。



薬剤管理指導について



薬局長 田村麻美子

これからの医療は患者さんのニーズを尊重した医療サービスが求められています。インフォームドコンセント(十分な説明と同意)の普及、患者さんのQOL(生活の質)に配慮した医療等、医療サービスの質的変換が求められている中で、薬剤師の業務も受動的から能動的医療職へと変わらなければなりません。調剤室の中にいて、処方箋が来るのを待っているだけでなく、ドクター、看護婦さん、患者さんの所へ出かけて行って情報を提供し、医療スタッフの一員として適正な薬の使用がなされるよう努力することが求められていると思います。

当院は8月より、薬剤管理指導の実施が県から承認されました。これからは薬剤師が入院患者さんの所に出向き、薬の説明をさせてもらったり、副作用についての注意を申し上げたりして、よりよい治療についてのお手伝いをさせて頂くことになりました。のみ薬や注射など、薬についてお聞きになりたい事がありましたらご遠慮なく相談して頂きたいと思っております。

私達薬剤師は患者さんからも、他の医療スタッフからも不可欠の存在となるよう自分達のレベルアップに励みたいと思っています。

彗星と胃カメラ

高知市 和田 依子

ラジオと車。それは、文明の利器多種多様あれど、我が生活の中で特にかかわりの深い、あえて言うならば文明への二大メディアであり、退職後のせせこましい空間に於いて、なお広がるネットワークへの役目を果たしているのである。

そこへ、最近突如として割り込んで来たのが映像文化二題。一つは木星への彗星衝突の情報。二つ目が我が胃の内部の絵。両者共に超科学、超文明のもたらす映像。が、余りにも対照的。片や8億キロ彼方の壮大なる宇宙の出来事。それに比し私事なる方は実にミクロ的存在の話。ところがである、そちらが人類初のイベントと言うならば、こちらは我が命初のイベント。比すべくもない重い命の実感。

まずは、胃カメラをのむこと自体が清水の舞台物である。(実は何の抵抗もなく入ってしまった。)「ここが胃の入口ですよ。」から始まって先生の懇切丁寧な説明を聞き乍ら、テレビ画面に映しだされた我が胃の行方をじっと見る。カメラは奥へ奥へと分け入り、胃の内部を次々と映し出す。進行方向に延びた胃の壁のしわ。ヨイショと乗り越えるポコポコの道。それは炎症。行き着く先は潰瘍の痕跡。幾週間もの投薬の末、みごとに治癒している。そこで驚異、後から挿入した針金状の物の先に付いた器具が局部の組織をカチッと取る。一瞬血が滲む。ホーツ。後は十二指腸のつながりまで極めて終点。一部とは言え我が体の内部がナレーター入りの同時進行で映し出される。これは壮大な胃のドラマ。驚異・感動でなくて何であろう。

そして感動と共に湧き上がる感謝の念。大いなるものへ…。竹内先生には深い敬意と感謝の気持ちで一杯です。安心して任せ切れる心のなごみ。本当に有難うございました。

私にとって、依然としてラジオと車は文明へ

の二大メディアである事に変わりはないが、我が胃の映像の記憶は生涯焼き付いて消えることのない一大イベントである。

*** **

膝の手術

窪川 田村 清子(4F)

私が変形した膝の痛みを感じる様になったのは、5、6年も前の事でしょうか。それまでは変形はしていても、痛みは年に何回もありません。無理をした時痛い程度の事でした。病院で注射をして頂き、のみ薬を頂けば1週間位で、又忘れる様な事でした。

ところが最近1、2年位から薬をのんでも、注射をして頂いても、その時だけと言った具合で、今年に入り益々痛さが加わり、3月頃から仕事もするのに辛くなり、A病院の院長先生から再三手術に行く様すゝめられる様になりました。痛いのは辛いですが、手術となると中々思い切りが付きません。でも、やっとの思いで4月12日岡村病院へ診察を受けに出て来ました。そして早速手術をして下さる由。4月15日入院して、19日手術との事で取りあえず入院しました。

不安は付きものです。同室におられた篠原さんから「私も痛くて手術を受けましたのよ、その後は少しも痛みはありませんから安心して受けなさい」とのお話を伺い、勇気百倍、先ず左足の手術を受けました。結果は上々、歩行には少しの痛みもなく、2ヵ月後に右足となりました。

それは少し思いが違い、やはり左足の弱さで右足をかばい切れず、いろいろ悩みました。でも皆様に助けられ、どうやら1カ月経ち、日一日と薄紙を除く様に快くなり、今では歩行時の痛みは全く無く、本当にうれしく毎日をリハビリに精出しています。

ご親切に見守りつづけて頂いた諸先生を初め、看護婦さん、学生さん、本当にお世話をおかけ致しました。家族に1日と見て貰う事もなく毎日を皆様のお世話様に相成り、ここ迄これました事、深く感謝しています。

いずれ退院の日も近づくとおもいます。あの坂あの段、どんなにして歩ける事かと心に浮かべつつ養生する毎日です。本当に思い切って手術をしてよかったと心より感謝しています。

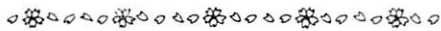




この病院に来て 思った事

事務 池田 浩美

私が岡村病院で働かせていただくようになって、もう5カ月が過ぎました。今、改めてこの5カ月間を振り返ると、何もかもが初めての経験で、戸惑うことばかりだったような気がします。最初、受付に座って先輩方の仕事ぶりを見て驚いたことは、ほとんどの患者さんの名前と顔が一致しており、どんな患者さんに対しても丁寧で、親切なことでした。これが、本来の病院の在り方で、当たり前的事だと思いますが、実際、このような病院は少なくなったように思います。これから、自分自身が受付で、この良い雰囲気を作っていく人間の一人として働いていくことに対して、期待もあり、不安もありました。実際に受付で仕事をしてみて、まだまだ分からないことや、患者さんの要求に充分に応えられないこともたくさんありますが、この良い雰囲気を壊さないように、また、患者さんの要求に精一杯応えられるように、一生懸命頑張りたいと思います。



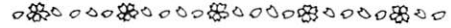
看護婦になって

看護婦 上村 陽子

私が、3月に県立の看護学校を卒業し、岡村病院に就職して、早、4カ月がたちました。初めの頃は、わからないことが多く、スタッフの方に、ご迷惑をかけてばかりで、毎日が緊張の連続でしたが、あたたかいスタッフの方々のご指導と、患者さんの優しい笑顔に支えられて、毎日がんばることができ、最近やっといろいろなことに慣れてきたかなと思えるようになりました。看護婦という仕事は、確かに、つらくて大変なところもありますが、自分のことだけでなく誰か他の人のために、自分が持っている力をだして自分にできることをやるという、人として大切なことができる素敵な仕事だと思うし、私

は毎日がとても楽しいです。

まだまだ未熟な私ですが、看護の仕事を通して、素敵な看護婦になれるように、また、人間としても大きく成長していけるように頑張っていきたいと思います。

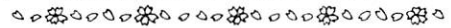


看護婦を目指して

看護学生 田中 由美

私が岡村病院に入って、4カ月くらいがたちました。3カ月、外来という仕事に就いて先輩方に色々教わりながら、勤務をしていました。だんだん慣れたかなという時に、7月から病棟勤務となりました。外来と違って、病棟は患者さんと接する時間が多くなりました。しんどいなあと思っている時、患者さんの笑顔、一言声をかけてくれることで、頑張ろうという気持ちになってきます。

これからも色々苦しいこともあると思いますが、一生懸命頑張っていきたいです。



旅行大好き

給食 小原 雅子

さわやかな高原、山深い湯、情緒豊かな古都。テレビ、新聞、雑誌が伝えてくれます。誘いこまれる様に、旅どころがうずきます。

高知城の桜、帰全のシャクナゲ、姫路城の桜、赤穂岬の桜と今年の春は花追い人になりました。夏は若人の季節。さて私は……。したがって「いき好き」の私は小休止。

九月には、西の尾瀬、鯉が窪湿原散策を計画しています。ふだんの生活をはなれ、何気ない風景、見知らぬ人との出会い、親切が心を和ませてくれます。その土地ならではの食べものも楽しみです。今迄食べる事だけ楽しみにしていましたが、給食の仕事に就いてからは、味付、盛付等、箸を付けずにジッと見ている自分に気付き、おかしくなる時もあります。行きたい、見てみたいという願いを思いのままに終わらせる事なく、時間と費用を上手に使って気分転換し、明日の活力にして皆さんに喜んで頂ける調理をしたいと思います。

今月のチャレンジ目標

患者さんの要望に
迅速に対応する

ニューフェイスです。ヨ・ロ・シ・ク!!



齊家 伸子さん
看護婦
聖隷学園浜松衛生短期大学卒・
聖隷三方原病院・近森病院
(高知市朝倉)



八百川啓子さん
看護婦
県立看護学園第二看護学科卒・
高知医大付属病院
(南国市緑ヶ丘)

〈人事〉 (8月1日付)

佐藤 和子さん (3階病棟主任) 4階病棟主任に
林 道子さん (4階病棟主任) 3階病棟主任に
齊家 伸子さん 3階病棟副主任に
杉本寿美恵さん 4階病棟副主任に

〈退職〉 ご苦労様でした。

大谷 弘子さん (准看護婦) 4月
下村 桂子さん (看護婦) 4月
山中こずえさん (看護学生) 6月
岩田理恵子さん (准看護婦) 7月

～ おめでとうございます ～

〈表彰〉

山本 由紀さん (事務)
6月14日 高知地区職場警察連絡協
議会長より優良青少年として表彰さ
れました。

〈出産〉

西村 昌子さん (検査室)
5月27日 男児出産
名前は、怜浩 (トキヒロ) ちゃん

第2回岡村病院ゴルフコンペ

日時 6月19日(日)
場所 黒潮カントリークラブ 黒潮コース
参加者 16名

優勝 益永 貫次さん (武田薬品)
アウト 41 イン 41 グロス 82 H 11
準優勝 土方 雅史さん (岡村病院)
アウト 47 イン 50 グロス 97 H 24
ベストグロ 益永 貫次さん
アウト 41 イン 41 グロス 82

次回は、10月23日(日)

〇 √ スワン会主催テニス 〇 √

日時 7月19日(火) 午後6時～8時
場所 サンピア高知
参加者 10人

次回は、8月17日(日)

スワン会主催の夏パーティー

7月26日(火)に、オリエントホテル屋上のビア
ガーデンで、前日の台風7号の影響が時々小雨
が降る中を職員19名が参加しました。仕事が終
わった後ということもあり、皆お腹が空いてい
た事と思います。お皿を持って、好きな食べ物
を取り分け、好きな飲み物をもっていました。
席につくと、日頃あまり話をするのできない
方達とも同じテーブルになり、アルコールも
手伝ったのかわかりませんが、いろいろな話で
盛り上がり、日頃のストレス(?!)をここぞ
とばかりに発散させ、嫌なこともどこかへ飛ん
でいった様に思われました。少し残念に思った
ことは、参加人数が少なかったこと。次回は多
くの方に参加してもらえることを期待したいです。
雨も気にならず、楽しい一時を過ごせたと思
いました。(竹部美和子)

— 編集後記 —

皆様のご協力により「あゆみ」第9号が出来
ました。8月から基準看護が承認になり、また
薬剤管理指導も承認されました。人間ドックに
来られる方も次第に増え、病院の仕事も各部署
にわたって忙しくなっていると思いますが、今
後共ご協力をよろしくお願いいたします。また
院内報について、ご意見がありましたらどうぞ
お聞かせ下さい。